

【情報公開文書】

2021年7月19日作成

Ver1.0.5

研究課題名	神経膠芽腫における免疫染色によるバイオマーカーの探索
所属（診療科等）	長崎大学病院 脳神経外科
研究責任者	吉田 光一（助教）
研究機関	この研究は長崎大学病院 脳神経外科のみで実施します。
研究期間	2021年5月18日～2027年3月31日
研究目的と意義	<p>神経膠芽腫は比較的頻度の高い悪性脳腫瘍で、標準治療を行ってもまだまだ予後不良の疾患であり、引き続き研究が必要とされています。</p> <p>本研究では、長崎大学病院脳神経外科で、神経膠芽腫と診断された患者さんを対象として、病理組織を免疫染色などで再検討します。残存検体あるいは保存してある凍結検体からDNAを抽出し、IDH1/2の点突然変異、MGMT遺伝子のプロモーターメチル化の検討を追加させていただきますが、患者さん本人以外のご親族に関連する遺伝子情報の検討を行うことはありません。生年・性別・病理診断・発生部位・既往歴・治療内容・再発の有無・経過などについての調査を行います。</p> <p>当院の患者さんから得られた研究結果が、過去の大規模研究の結果とどの程度共通点があるかを検証するため、The Cancer Genome Atlasというアメリカの無償で一般公開されている膠芽腫患者さん166人から得られた、過去のビッグデータを再解析して、再現性の検証を行います。</p> <p>最近話題になっているALK、PD-L1、PDGFRAという遺伝子の異常などを再検討し、新規治療法の可能性があるかどうかを検討するための基礎研究を行うことが目的です。長期的な観点から、脳腫瘍患者さんの治療成績の向上に資する可能性がございます。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さん 2016年1月1日～2020年3月31日に当院で神経膠芽腫と診断を受けられた方</p> <p>●利用する情報／試料 患者さんの背景：性別、生年月日、入院・外来の別、合併症、既往歴、現病歴。併用薬／併用療法。自覚症状・他覚所見の確認。バイタルサインの記載、全身状態の記載。神経所見。血液学的検査。血液生化学検査。尿検査。頭部造影MRI、頭部CTの所見。認知機能検査。放射線治療を行う場合はその詳細。脳腫瘍の遺伝子変異（DNAを用いたIDH変異、MGMTプロモーターメチル化解析）。免疫染色：ALKに対する免疫染色および、ALK-EML4癒合遺伝子に対するFISH。そのほかの免疫染色としてp53、ATRX、Ki-67（MIB-1）、PD1/PD-L1、PDGFRAを評価します。再発</p>

	<p>難治症例に対し、通常診療（保険診療）で Foundation One[®]などの網羅的遺伝子診断を追加している場合、その結果を既存情報として参照します。</p> <p>The Cancer Genome Atlas のビッグデータ解析は過去の情報を、当科の研究費を用いて再解析するものであり、患者さんやご家族に新たなご負担をお願いすることはありません。</p> <p>本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法</p> <p>研究の対象となる患者さんには、通常診療と同様の治療を行わせていただきます。手術後、摘出標本から病理診断に必要な部分を確保します。一部、余った検体を液体窒素あるいは適切な保存液を用いて保存させていただく場合があります。原則、免疫染色などの病理学的検討を行うのが本研究の主目的です。得られた情報と、様々な臨床経過で得られた情報をもとに、何が患者さんの良好あるいは不良な治療経過に影響するのかを探索します。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：吉田 光一（助教） 長崎大学病院 脳神経外科 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7375 FAX 095（819）7378</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）</p>